

キャラクター名	プレイヤー名
ハクアギ・テラノ	

メインクラス	エクスプローラー	Lv.1:	シーフ	レベル	12
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	サムライ	性別	女性
称号クラス				年齢	20
種族	ヴァーナ			境遇	
出自 (効果)				目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	21	15	15	6	23	6	9
ボーナス	7	5	5	2	7	2	3
クラス修正	1	2	2	0	2	1	0
他修正							
能力値	8	7	7	2	9	3	3

HP	117
MP	89
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	髭切	至近	-1	16	0	0	0	0	0
左手									
頭部									
胴部	胴着					7			
補助	クイックバンド							2	1
装身具	迅雷の鞘								
能力値			7	0	7	0	3	16	13
スキル								11	9
その他								3	
総計(右)			6	16					
総計(左)			7	0	7	7	3	32	23
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	4 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
HMPP	
HMPP	
冒険者セット	
毒消し	
小道具入れ	
バックパック	
クイックケース	

現在重量:	2	所持金:	30	預金・借金:	
最大重量:	42				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	狼族、移動力+5m、行動値に+1							
ワイドアタック	5	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果:	武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]							
インタラプト	★	-	効果参照	視界	単体	自動成功		
効果:	スキルの使用を無効化する							
バタフライダンス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	回避判定に+1D。							
ワイドストーム	3	3	効果参照	-	自身	自動成功		
効果:	ワイドアタックを行うスキルと同時に使用、ダメージに+SLD							
クイックムーブ	2	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	行動値、移動力に+SL*2							
シャドウハイド	1	10	効果参照	-	自身	自動成功	シーンSL回	
効果:	回避判定と同時に使用。回避に成功したときメジャーアクションを一回行える。							
レイザーストーム	1		ワイドアタック	-	自身	自動成功	1/シナリオ	
効果:	ワイドアタックを対象：場面（選択）、射程：視界に変更する							
ゲイルスラッシュ	1	15	メジャー	-	自身	自動成功	シーンSL回	
効果:	ワイドアタックを2回行う							
ダッシュアタック	★	5	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果:	戦闘移動とダメージ増加を行う。白兵攻撃に+2D							
	1							
効果:								
スピリッツオブサムライ	5	-	アイテム	-	自身	-		
効果:	刀*SL個獲得							
アームズマスター；刀	★	-	パッシブ	-	自身	-	刀使用	
効果:	命中判定に+1D。							
フォアストール	2	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	行動値に+SL*2							
レイジ	3	-	マイナー	-	自身	自動成功	刀使用	
効果:	ダメージ増加。+SL*10。使用後武器は破壊される。							

東方から来た粗野な女剣士
 刀に誇りを持ち合わせず、獣にとつての爪や牙と同じく戦いのために手段としている。

【プロローグ】
 東方のある領地、そこでは家督争いから発展した紛争が長期化し混迷を極めていた。テラノが生まれたのはその中でも特に荒れたスラムだった。市中でもお構いなしに両陣営の侍が切りあい、街は血に染まり、路肩に骸が積まれていた。巻き添えを恐れた商人は引き上げ、あらゆる資源が枯渇した。脱出する余裕の無い者は戦費を強引に徴収していく侍を怯えながら生きていくしかない。そういう街だ。
 早くに親を亡くし、テラノは戦場から金目の物を漁り日々を生きてきたが、ある日偶然また状態のいい刀を発見する。歯車が噛みあい動き出す感覚。それまで剣術を習ったことはなかったが、柄を握った刹那にその最適な扱い方を理解した。天はテラノに剣才を与えていたのだ。その帰りに戦利品を横取りすべく侍が待ち構えていたがこれを撃退、それまでは搾取される側だったテラノは以降、横暴を働く侍を襲っては装備を剥ぎ取り、金に換える生活を繰り返すこととなる。無敗の侍狩りとして両陣営から恐れられていた。
 連勝に次ぐ連勝に気を良くしていたテラノに第二の転機が訪れる。ある日挑んだ相手、不幸にもその老人は武者修行に来ていたムゲン流の師範であった。持ち前のスピードと天性の戦闘センスをもってしても一刀の前に叩き伏せられ敗北。泥にまみれ這いつくばるテラノにその老人はムゲン流への入門を打診する。

【現在】
 剣術を修め、ムゲン流の技を身に着けたが、残念ながら剣士としての精神は身につかず、剣術を単に戦う術としか見ていない。しかし、名門ムゲン流を修めた肩書はテラノに冒険者として生きていくという道を与えた。道場をでた後、専ら荒事専門の冒険者として東方で活躍していたが、師匠の訃報を聞き、西方へ向かった。黒龍（ブラック・ドラゴン）なるゴロツキ集団の首領タケミチと決闘し、敗れたとのこと。テラノはその出自から極めてドライな死生観を持っている。弱い者が死ぬのは当然の摂理であり、それが厳粛な決闘の末であるのならばなおのこと恨む所以はないと考えている。だから彼女が西へ急ぐのは怨恨を晴らすためではない、いつかのうちにと楽しみにしていた師匠越えのリベンジ、それをタケミチを斃すことで成し遂げようとしているからだ。（機会を奪ったという意味ではタケミチに怨恨はある）

